

第 16 回 宮崎地方会活動報告

テーマ：医師事務の教育体制づくり

～新人教育の実際～

日時：2022 年 2 月 19 日（土）13：30～16：00（実質 16：10）

開会あいさつ

社会医療法人同心会 古賀総合病院 院長 今村 卓郎先生

2020 年当院が宮崎県支部事務局を拝命しコロナ禍で十二分な事務局活動ができなかった中、第 16 回宮崎地方会が開催できたことを大変喜ばしく思います。医師事務作業補助者の教育、特に新人教育にテーマに開催します。医師の働き方改革ではタスクシフト、タスクシェアを担うのが医師事務作業補助者だと思っています。今後の活躍をさらに期待する熱いエールを頂きました。

講演

宮崎学園短期大学 現代ビジネス科教授 黒野 伸子先生

「医療系事務職員に必要な社会人基礎力の今」

—背景と課題—医療事務系職員に求められるスキル

専門職のサポートが中心で業務の定義が不明瞭で多岐に渡るものが診療報酬上の評価となった。患者が顧客意識を持ち始めており、目に見えないサービスや情報に目を向けるようになった。待遇が社会人基礎力に繋がってゆく。医師事務の私たちが専門性高く、質の良い仕事をしていくことが大事である。

—社会人基礎力について—医療系事務職員に必要な社会人基礎力とは

経済産業省は 2006 年に「多様な人々と仕事をしていくためには必要な基礎的な力」として、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の 3 つの力を提唱

—教育実践—藤田医科大学・岡崎女子短期大学での取り組み

チューター制の取り組みについて

アセンブリ教育の取り組みについて

—医療事務系職員に必要な社会人基礎力の今—

医療機関の望む人材像は職種によって明らかな差異があり、「事務職」と一括りにできないアンケートでもリアルタイムに必要な内容でした。とても勉強になりましたなど、社会人の基礎力の実際をふまえた上で各事業所での取り組みにつなげていく事が出来るのではないのでしょうか。

実践報告

池井病院 総合企画課 瀬戸口 晶子先生

宮崎県済生会日向病院 医事課 柳田 智美先生

古賀総合病院 医療情報管理課 小牧 しおり

池井病院

-PARTNERE SHIP GROWTH-新部署設立（総合企画課）の取り組みについて

宮崎済生会日向病院

～新人教育の実際～医師事務の研修から教育体制作りへ

古賀総合病院

～新人教育の実際～業務の洗い出しからキャリアパス作成へ

3病院から実践報告を発表いただきました。

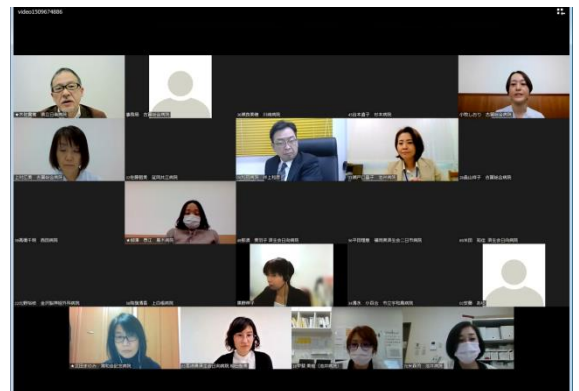
今後の新人教育体制作りのヒントにしていただければと思います。

パネルディスカッション

発表いただいた講師に対し、チャット上の質問に回答
いただきました。他病院がどんな取組みをしているのか？

また、成果はどれだけか？

パネリストにお答えいただき、闊達な意見交換会ができた
と思います。



総括

教育体制作り～新人教育の実際～をテーマに地方会を開催させていただきました。申し込み当初からご質問や激励のお言葉を頂き教育体制作りにみなさま、苦慮なさっているのを伺い知ることができました。コロナ感染のピークアウトが見えない中、業務上では電話再診業務が脚光をあび、医師事務作業補助者が活躍されたと思います。医師事務作業補助者のスキルに対し大きく求められているのがコミュニケーション力です。そのコミュニケーション力がもっとも必要となった時代となりました。

参加者は管理職の方が大半でした。まずは私たちが、自分たちの業務の先に患者がいることを念頭におき、業務にあたることで、新人教育の模範となるように努めたいものです。